



④新庄南高校と金山校の生徒たちが町内10世帯で除雪 ⑤みすぎ荘の職員は吹雪の中、高齢者宅を除雪

2月5・8・20日、みすぎ荘の職員の皆さんが、一人暮らし高齢者世帯の除雪作業を行いました。毎年、町内の数世帯を対象に実施しているボランティア活動。8日には、吹雪の中4名体制で三上房子さん(宮)宅前に積もった1m以上の雪を崩しながら除雪しました。三上さんは、綺麗になった庭先を見て「こんなに広くしてもらって本当にありがたい」と感謝していました。

また、2月16日には新庄南高金山校の生徒及び新庄南高校へ金山町から通学している生徒による除雪ボランティアが実施されました。対象は町内の一人暮らし高齢者宅など10世帯で、生徒らは個別に要望を聞きながら作業。各世帯から感謝の言葉をいただき嬉しそうな表情でした。今年も町内各地で除雪ボランティアによる奉仕の輪が広がりました。

寒

いけれど心はあったか
今年もボランティアの輪がひろがる

町

から賀詞・お祝い金を贈呈
祝！高橋マサエさんが100歳

高橋マサエさん(山崎)が、3月15日に100歳の誕生日を迎えられ、鈴木町長からご本人へ賀詞やお祝い金が贈呈されました。マサエさんは大正8年生まれ。この日は、曾孫さんを含むご家族が駆け付けて祝福しました。サプライズで洋服が

プレゼントされると大きな笑顔で喜ばれていました。その他にも、大きな節目を祝して、9月には内閣総理大臣から賀詞が贈られています。これからも健康に留意され、長生きしてください。100歳のご長寿、おめでとうございます。



お雛様の前でご家族と記念撮影するマサエさんは元気に「ピースサイン

金

山ごども食堂の利益を町に寄附
来てくれた町の皆さんに恩返しを

昨年11月に金山小学校の5・6年生が1日限定で営業した金山ごども食堂で得た利益を「福祉のために活用してほしい」と町に21,566円の寄附をいただきました。2月18日、代表して星川璃央さん(6年)と柿崎心さん(5年)が役場

を訪れ、鈴木町長へ寄附金を手渡ししました。2人は「お金を稼ぐことは大変だと実感した。作った鍋やラーメンが完売したのは、たくさん来てくれた皆さんのおかげ。町に寄附することで恩返しになると良い」と話していました。

町

内の小中学校で卒業証書授与式
学び舎を後に「ワカツバメ巣立つ——」

第72回を数える金山中学校卒業証書授与式が、3月16日に執り行われ、53名が学び舎を巣立ち、新たな一歩を踏み出しました。卒業生代表の今井美結さん(安沢)は「この3年間は、仲間がいたから乗り越えることができた。関わってくれた皆さんに感謝したい」と涙ながらに述べ、別れを惜しんでいました。

また3月18日には、町内3小学校で卒業証書授与式を挙行。卒業生の堂々たる姿に、先生やご家族は目に涙を浮かべ6年間の成長を喜んでいました。4月からは金山中生として、活躍を期待します。



(右から) それぞれA組・B組の仲間です。卒業式後の門出式では新旧応援団によるエール交換が行われた

伝

統の白銀少年スキー選手権大会
地元金山勢の優勝も大会に華添える

白銀会と町教育委員会が主催する第62回白銀少年スキー選手権大会が2月24日、神室スキー場で開催されました。県内外から約180名の選手が出場。町内勢では、女子リレーにおいて明安スキースポ少が見事優勝を果たしました。また、男子リレーでは有屋

スキースポ少が3位に入賞。個人種目においても、2部女子で高橋灯里さん(金山スポ少)が優勝を手にしたほか、多くの町内選手が活躍しました。子どもたちの熱戦により、歴史のある本大会に今年も新たな1ページが刻まれました。



今年からアルペン競技は2人スタートで勝敗を決するトーナメント方式に

ス

キーハイキングin神室
会話を楽しみながら心地よい汗を

金山健康ふれあいスポーツクラブが主催するスキーハイキングin神室が3月17日、神室スキー場で開催されました。栃木県や宮城県など県内外から41人がエントリー。8歳から69歳まで幅広い世代が1〜2kmのクロスカントリー特設コースで会

話を楽しみながら歩いたり滑ったりと、心地よい汗を流してゴールしました。ゴール後は、ホテル宿泊券など豪華賞品があった抽選会が大盛況。レストランフォレストの特製豚汁が振る舞われるなど、参加者にとって充実したイベントとなりました。



参加者の皆さんで集合写真。「歩く」スキーを楽しんだ